

花ちゃん・オーフ君・モンタ博士のわくわくドット相立てく4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月26日 NO.49 (349)



モンタ博士「きのうと、おとといの谷保天満宮のお祭りはすごかったね。」

花ちゃん 「モンタ博士も参加されたのですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。地域の大きなお祭りだから、もちろん参加したよ。このよう
なお祭りが、地域にあるということは、とてもうれしいことだし、ほこ
あちこちみんなに自慢してもいいことだと思うよ。」

花ちゃん 「お祭りの正しい名前は、『谷保天満宮例大祭』というそうですね。」

モンタ博士「ほほー。なかなかくわしいね。感心だね。」

花ちゃん 「正しくは、毎年9月25日に祭典がありますが、その近くの土曜日・日曜日
に『宵宮参り』と『古式獅子舞』と『万灯行列』が行われるんです。」

オーフ君 「へえー。花ちゃんは何でも知っているんだね。すごいね。」

花ちゃん 「わたしなんかすごくないわ。国立第七小学校の子どもたちは、お祭りのメン
バーとして活躍してくれているんです。それがすごいんです。」



モンタ博士「そうだね。『古式獅子舞』では、5年生のM・SくんとH・Sくんが棒使いと
して参加しているんだ。かっこいい衣装でバッチャリきまっていたね。」

花ちゃん 「それから、『例祭祭典』では、4年生のN・Sさんが『紅童』となり、華や
かな衣装で美しい舞を見せてくれるんです。」

モンタ博士 「『万灯行列』では、子供万灯もあって、それをかついで、たくさんの万灯と
いっしょに谷保駅から谷保天満宮まで、勇壮に練り歩くんです。」

オ一君 「見た見たよ。すごかったね。万灯には大・中・小とあって、国立市のいろ
いろな町会から一基ずつ出るんですね。」

モンタ博士 「とても立派なお祭りでしたね。獅子舞は1000年の歴史があるそう
で、モンタ博士もおどろきました。お祭りには、夜店なども出てとっても楽し
いけど、それだけで終わりにしては残念だね。この機会に、自分の地域をも
っと深く知ることが大切だよ。ところで、このお祭りは谷保天満宮のお祭り
だけど、だれを祀っているか覚えているかな。」

オ一君 「えーっと・・・だれだったかな。」

花ちゃん 「こまるわね、オ一君。菅原道真公ですよ。国立第七小学校の子どもとして、
ちゃんと覚えておきましょう。」

モンタ博士 「そのとおりだね。菅原道真公と谷保天満宮については、平成25年度の『国立
てくてく1』のNO.84とNO.85に、いつ頃の人で、どんな人で、何をし
た人かくわしく書いてあるので、また復習しておいてほしいね。」



谷保天満宮について

東日本における天満宮としては最も古く、湯島天神、亀戸天神とならび関東三天神と称される。主な社宝としては、後宇多天皇勅額「天満宮」(国指定重要文化財)、村上天皇奉獻「狛犬一対」(国指定重要文化財)などがある。また、本殿・拝殿は市指定重要文化財で、社叢は東京都天然記念物であり、大変貴重な存在である。さらに、獅子舞は、市指定無形文化財である。なお、社務所二階には宝物館があり、日曜・祭日の午前11時より午後3時まで無料で見学ができるそうである。